



AOI NEON Co., Ltd

CSR REPORT 2005



アオイネオン株式会社

Contents

はじめに 1
 企業概要 1
 トップメッセージ 2

コンプライアンス

企業理念とCSR 3
 企業理念 3
 あるべき社会での企業像をめざして 3
 コミットメント 4
 コンプライアンス方針 4
 社内体制 5
 報告、相談への対応 5
 社会的側面への取り組み 6
 労働安全衛生活動 6
 社会貢献活動 6

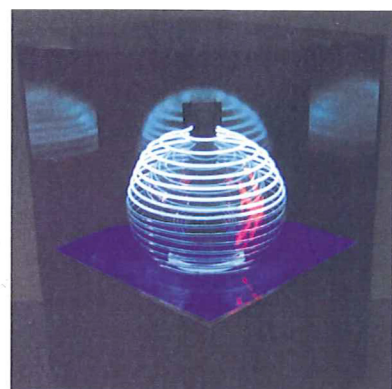
環境マネジメント

環境方針 7
 組織体制 7
 ISO14001認証 7
 環境負荷低減活動 8
 ・ 産業廃棄物の削減
 ・ 製品への環境配慮
 環境パフォーマンス指標 9
 環境目標に対する実績 10
 環境会計 11
 「グリーン購入ガイドライン」の制定 12
 基本方針 12

トピックス

第4回ネオンアート展 (2005.1.29~2.6 in大阪毎日放送ギャラリー)

全日本ネオン協会主催のネオンアート展に出展された、当社スタッフの手によるネオンアート作品をご紹介します。



題名:イマジン 作者:海老名敬善
 第4回ネオンアート展 第2席作品



題名:ネオントーチ
 作者:加藤十智

はじめに

◆ 本「CSRレポート」について

● 報告対象範囲

2004年度(2004年8月～2005年7月)の主として環境保全に関する取り組み及び、社会性に関する取り組み(コンプライアンス、お客様とのかかわりにおいて、従業員とのかかわりにおいて、社会とのかかわりにおいてなど)の実績を記載しております。なお、ご説明の関係から2005年度初めの実績も一部含んでいます。

● 参考としたガイドライン

- ・ 環境省「環境報告書ガイドライン」(2000年度版、2003年度版)
- ・ 環境省「環境会計ガイドライン」(2002年度版、2005年度版)

● 次回発行予定

- ・ 次回の発行は2006年11月ごろを予定しております。

企業概要

社名 アオイネオン株式会社
 創業 昭和26年8月
 設立 昭和32年1月
 資本金 5750万円
 従業員数 78名(男子64名・女子14名)
 工場 静岡工場 東京工場 浜松工場
 代表取締役社長 横山 巖
 業務内容 ネオン・広告塔・館内サイン・企画・設計・施工
 光触媒・光酸化
 外壁クリーニング(スパークルウオッシュ)
 静岡本社 〒422-8076 静岡市駿河区八幡2-11-11
 TEL.054-282-1221
 東京本社 〒146-0082 東京都大田区池上3-6-16
 TEL.03-3754-2111
 浜松支店 〒438-0221 静岡県磐田市南平松10-7
 TEL.0538-66-8081
 大阪支店 〒541-0048 大阪市中央区瓦町2-3-14
 TEL.06-6227-6881



静岡本社



東京本社



浜松支店



大阪支店

トップメッセージ

「美しい都市景観の創出を目指して」



代表取締役社長

横山 巖

この2005年度CSRレポートでは、昨年までの環境報告書から一步前進して企業の社会的責任を中心に当社の活動をご報告いたします。

建築の世界では構造計算書の偽造事件が私たちの社会生活に大きな不安を与えました。サイン業界でも、設計における構造計算が正しく順法に行われているかが厳しく問われています。また本年から新しい屋外広告物法がスタートし、特に法令順守が厳しく求められるようになりました。

このような社会の要請を、私どもアオイネオンは待ち望んでいたと言っても過言ではありません。これまでは、お客様や社会からサインにコンプライアンスを求められることは稀であり、業界内にもその理念の欠落した業者が多数おりました。

当社では2004年8月にCSR委員会を設置し、企業として、人として、社会に認められ貢献することを目指した取り組みを開始しました。そして、あるべき社会像としての「美しい都市景観の創出」実現に向けて、企業理念に基づくコンプライアンス方針と行動規範を定め、2005年2月に倫理綱領「コンプライアンスマニュアル」第1刷を発行しました。

またEMS（環境マネジメント）においては、次回維持審査からISO14001が新版2004へ移行することを前提に環境方針の見直しを行いました。全ての事業決定に地球環境への配慮を実現すること、環境パフォーマンスを向上させることを柱としました。当社のEMSはCSRに基づくとの基本的な姿勢によるものです。そして環境目的に新たに「グリーン購入の推進」を加え「グリーン購入ガイドライン」を策定しました。

私たちが祖先、親、先輩たちから引き継いできた地球環境は人類にとって貴重な財産です。この環境をこれ以上傷めることなく次の世代に伝えていくことが、私たちに与えられた使命であると思います。私どもアオイネオンでは、会社として、そして社員全員が人として、社会的責任を自覚し引き続きその責務を果たしてまいります。まだまだ未熟なものとは存じますが、皆様のご指摘やご指導を頂ければ幸いに存じます。

企業理念とCSR

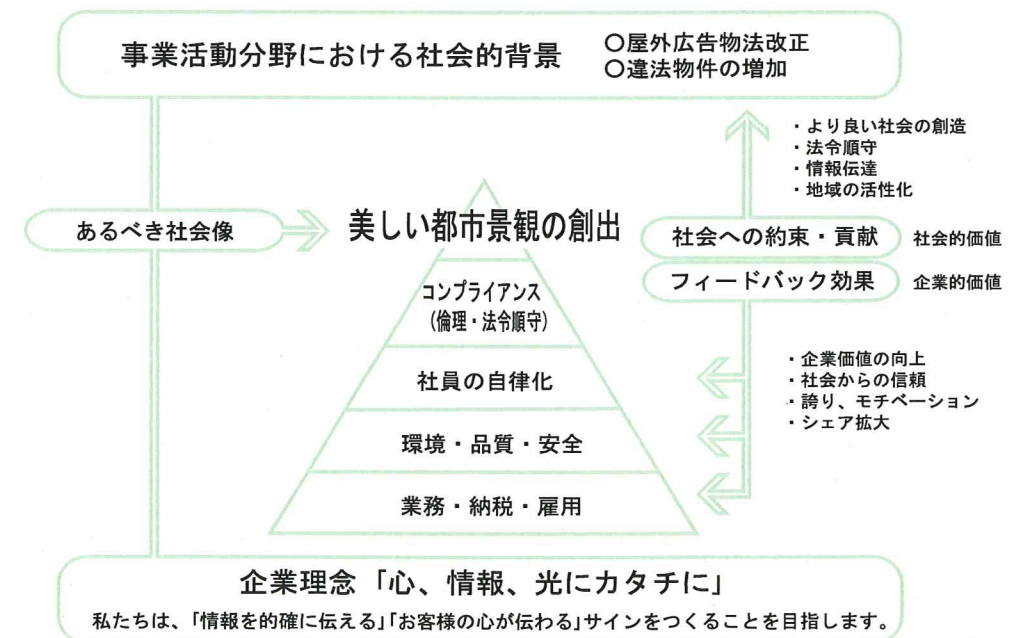
企業理念「心、情報、光にカタチに」

私たちが考えるサインの第一目的は「情報を的確に伝える」ということです。そのうえで「広告主様の心が伝わるサイン」をつくることを目標としています。私たちは、お客様の「心」、「情報」をメーカーとして「光」、「カタチ」にしていきます。ギリシャ語のNEOS(新しい)から命名されたネオンの名の下に新たな価値創造にチャレンジし、環境問題やコンプライアンスなどへも積極的に取り組み、社会との共生・調和を念頭に、お客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様の満足と信頼を得られる企業を目指しています。

あるべき社会での企業像を目指して

当社では、2004年8月にCSR委員会を社内に設置しました。企業理念に基づき「美しい都市景観の創出」の実現に向けて、CSR活動の核となるコンプライアンス(倫理法令順守)体制の構築に着手し、役員・従業員の一人ひとりが企業市民として社会的良識をもって行動するための基本となるコンプライアンス方針及び行動規範を制定しました。「美しい都市景観の創出」は、アオイネオンの経営理念より導き出された事業活動分野における「あるべき社会像」と同時に、屋外広告物法改正や違法物件の増加などの背景から社会が求めている姿でもあります。

CSR活動により当社は、社会的価値である、より良い社会創造・法令順守・情報伝達・地域の活性化を約束し、社会から支持される「価値ある企業」を目指します。



コンプライアンス(倫理法令順守)

コミットメント

私たちアオイネオンの社員は理想の社会像としての「美しい都市景観の創出」を究極の目標として共有していきます。これは当社の企業理念である「心、情報、光にカタチに」から導き出されたものであり、私たちの理想であると同時に社会が求めている姿でもあります。

この理想の実現に向けて留まることなく日々継続する会社のあらゆる事業活動において、社会的責任を果たし価値ある企業として社会から支持されるための努力を怠りません。

そこでCSR委員会を中心に論議を重ねて、私たちが企業市民として行動する基本となるコンプライアンス方針と行動規範を制定し、コンプライアンスマニュアルとして纏めました。

私は、経営者として率先してこの方針に従い行動規範を守ることを誓約します。社員全員が心をひとつにしてコンプライアンスマニュアルを順守することを約束いたします。社員一人ひとりの信念が結実して理想への第一歩を踏み出すことができるものと確信しています。

平成17年2月28日 代表取締役社長

横山 巖

コンプライアンス方針

当社は企業活動を通じて公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たします。そのために経営幹部であろうと一般職員であろうと、職位あるいは職務内容にかかわらずみな等しく、誠心誠意をもって、業務に関連する法令・ルールを順守し、より一層倫理的な組織を構築していくことに努めます。

1. 法令・ルールを守り、地域社会に貢献しよう

私たちは顧客、取引先、株主等を含む幅広い社会との健全で良好な関係を維持するとともに法令や社会的規範、社会的良識に基づいた企業活動を行い、地域社会発展の一翼を担います。

2. お客様に喜ばれる努力をしよう

私たちはお客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たすとともに、お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性の確保を実現します。

3. みんなで創ろう笑顔のある職場

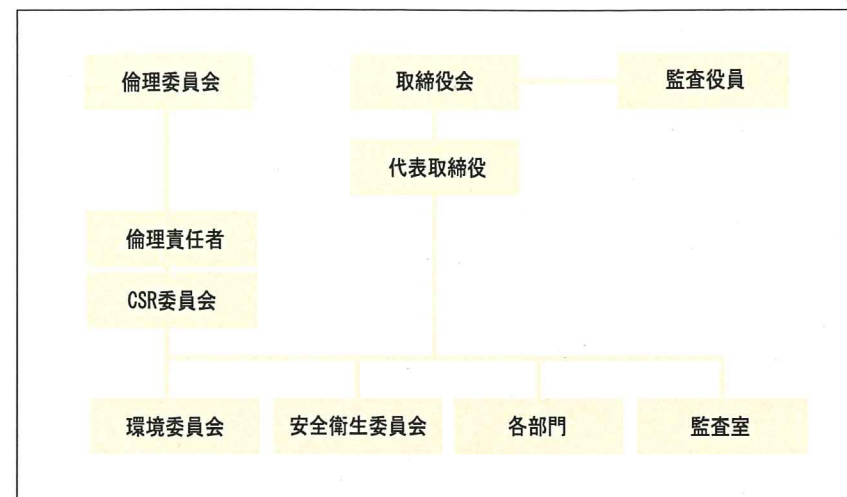
私たちはすべての人々の人権を尊重します。また一人ひとりが互いに信頼できる健全な職場環境をつくりまします。

4. 一人ひとりの心がけ健康づくり安全作業

私たちは社員一人ひとりが心身ともに健康で、安全に働くことができる、事故や災害のない職場づくりを目指します。

コンプライアンス(倫理法令順守)

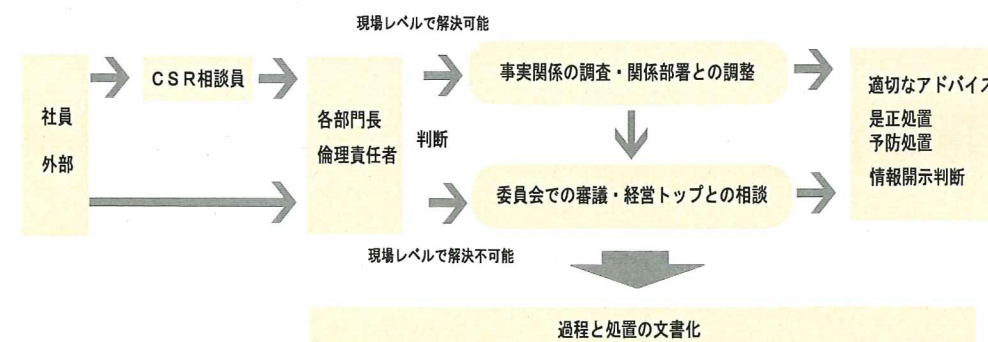
社内体制



- 1、コンプライアンス委員会（倫理委員会）：倫理法令順守に関する全社の方針の作成、マネジメントシステムの見直しなどを行う。事務局はCSR委員会内に置く。
- 2、コンプライアンス責任者（倫理責任者）：倫理方針の推進に取り組む最高責任者。
- 3、CSR委員会：コンプライアンス委員会の事務局を務め、倫理法令順守に関する日常的な業務を行う。たとえば、方針の管理と改訂作業、状況に応じた計画の見直し 報告相談業務、社外とのコミュニケーション、実施状況の把握と報告。

報告、相談への対応

倫理責任者、各部門長は、適宜、社員からの相談に応じ、適切なアドバイスを与える。また、倫理綱領や各種法令順守から逸脱する行為があるとの報告を受けた場合、以下により対応する。



労働安全衛生活動

人の安全と健康は何物にも変えることの出来ない価値です。特に、厳しい作業環境にある建設現場等の職場を擁する当社にとって、安全で健康的な職場環境の確保は、大きな社会的責任であると考えています。当社は災害ゼロをめざして、安全確保に向けた組織的な取り組みを進めています。

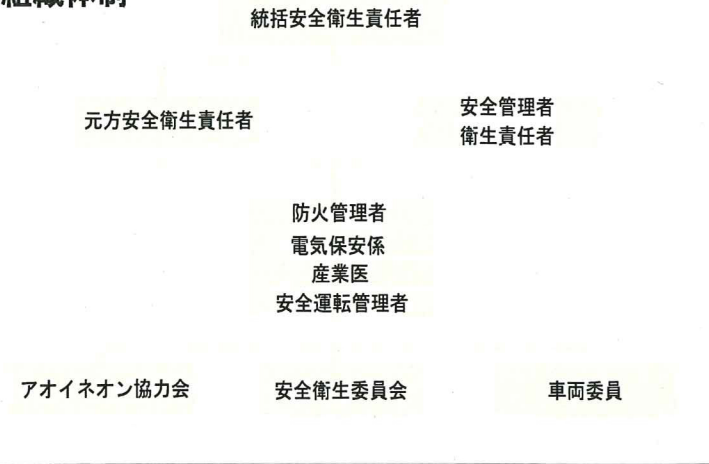
主な活動

安全衛生委員会	毎月1回
安全パトロール	毎月1回
KYミーティング	現場作業開始前
産業医工場巡視	毎月1回
アオインオン協力会	年1回

安全パトロール



組織体制



社会貢献活動

『小さな親切』運動への参加

各事業所それぞれにおいて、地域活動に参画しています。2005年は「環境美化統一運動」に参加しました。

磐田市今之浦公園周辺の清掃（浜松支店）



環境マネジメント

アオインオンでは2001年に環境問題改善プロジェクトをスタートさせて以来、環境への取り組みを積極的に進めてきました。現在は、2005年8月に新たに制定された環境方針のもと「全ての事業決定において環境に配慮する」という目標達成に向けて、さらに積極的に取り組みを行っています。

環境方針

当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、すべての事業決定において地球環境への配慮を実現し、社会的責任を果たすことを目指します。

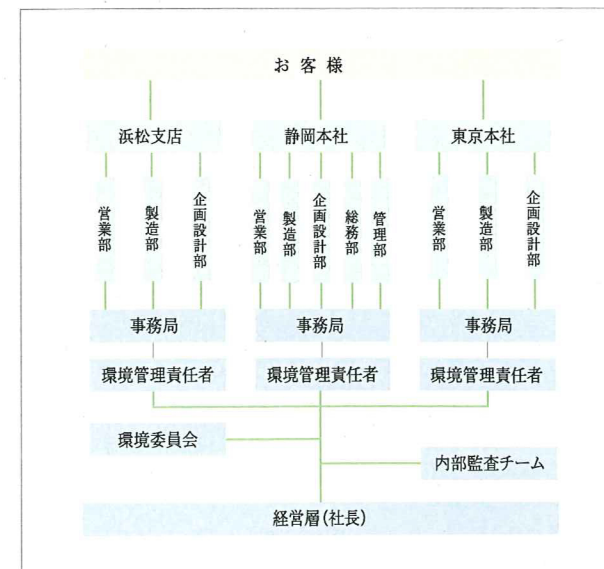
そのために環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防と環境パフォーマンスの向上に努めます。また、環境関連法令、その他の要求事項を遵守し、地域社会との強調に努めます。

特に下記項目を環境目的として取組んでまいります。

1. 資源・エネルギーの節減
2. グリーン購入の推進
3. 産業廃棄物の削減

この方針は組織のために働くすべての人に周知し、広く一般に開示します。

組織体制



ISO14001認証

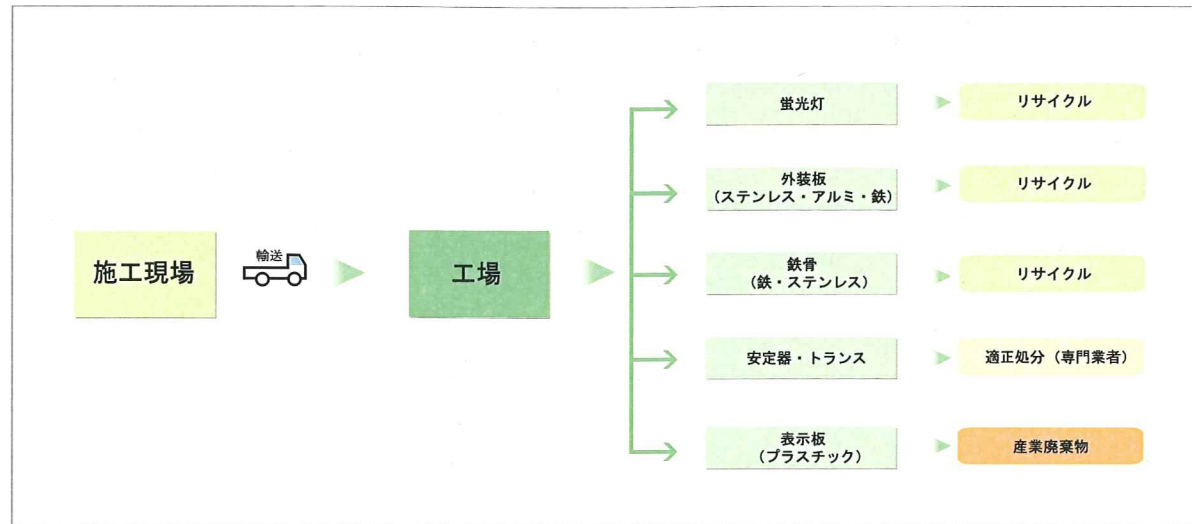
当社は、2003年1月16日に全工場及び全ての業務部門でのISO14001の認証を取得しました。



環境負荷低減活動

産業廃棄物の削減

企業の合併に伴う社名変更やVIによるサイン工事の際、当社は製品を製造し社会に供給していますが、同時に多くの産業廃棄物が発生します。当社では産業廃棄物の適正処理はもとより、資源を有効に活用することが大きな使命の一つと考え、廃棄物の削減と発生した廃棄物の再資源化に取り組んでいます。



製品への環境配慮

当社では、環境影響を低減する上で最も重要な段階である設計開発での環境配慮に取り組んでいます。お客様の使用時に発生する環境への影響を考慮し、環境負荷が小さい製品をご提供することを目的に、環境配慮型製品のご提案をさせていただいております。

株式会社ディシラ **スタンドサイン LED調光照明**

ディシラ新ブランドのコミュニケーションシンボル【D】をアピール。内部照明にLEDを使用し、省エネとロングライフを実現。さらに、調光装置による【青と白】の滑らかな色変わりを演出。ブランドの認知性を高めます。

広告主：株式会社ディシラ 設計：アライオン株式会社・東京本社
デザイン：資生堂 宣伝部 制作：アライオン株式会社・東京本社

第35回 日本POP広告協会展 サイン部門：銀賞 受賞



▲ 環境配慮型製品のご提案ラベル

環境パフォーマンス指標

対象期間；2004年8月1日～2005年7月31日
対象サイト；静岡本社、東京本社、浜松支店

産業廃棄物の削減

事業所	(円) 改装工事売上	(m ³) 廃棄物処分量
静岡本社	296,292,000	48.67
東京本社	165,229,485	53.65
浜松支店	53,423,854	24.50

事業所内電気使用量の削減

事業所	2003年度		2004年度	
	年間就業時間	使用電気量	年間就業時間	使用電気量
静岡本社	90399 h	91629 k wh	85981 h	81858 k wh
東京本社	50303 h	70371 k wh	47069 h	69030 k wh

環境対応型製品の提案

事業所	非塩ビ		省エネ	
	年間提案件数	採用件数	年間提案件数	採用件数
静岡本社	188件	63件	124件	38件
東京本社	71件	23件	74件	27件
浜松支店	45件	3件	42件	13件

実績値の推移

内容	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	単位	2001年度比 (%)	前年比 (%)
産業廃棄物処分量	457.520	171.824	152.587	126.820	m ³	27.71	83.11
事業所内使用電気量	177903	165842	161973	150897	kwh	84.81	93.21

環境目標に対する実績

対象期間； 2004年8月1日～2005年7月31日
対象サイト； 静岡本社、東京本社、浜松支店

静岡本社

項目		基準年	目標値	実績値	評価	次年度目標
産業廃棄物削減	1 産業廃棄物処分量原単位3%削減 (原単位=産廃処分量/改装工事売上高100万円)	2002	0.503 m ²	0.181 m ²	◎	0.177 m ²
	2 紙のリサイクル率58.3%を手順の順守により維持	2002	手順の順守	順守されている	◎	手順の順守
事業所内における電気使用量の削減	1 節電により事業所内使用電気量1%削減 (電気使用量/労働時間)	2003	1.014 kwh	0.952 kwh	◎	維持管理項目
環境配慮型製品の提案	1 非塩ビマーキングフィルム材の提案		96件	129件	◎	※グリーン購入対象製品
	2 省エネ方式のサインの提案		96件	188件	◎	※グリーン購入対象製品
法規制の順守	1 環境法規制への対応		100%	100%	◎	100%

※2005年度よりグリーン購入ガイドラインを制定し、指定品目の実績値を監視測定する。

東京本社

項目		基準年	目標値	実績値	評価	次年度目標
産業廃棄物削減	1 産業廃棄物処分量原単位3%削減 (原単位=産廃処分量/改装工事売上高100万円)	2002	0.409 m ²	0.21 m ²	◎	0.2 m ²
	2 紙のリサイクル率81.8%を手順の順守により維持	2002	手順の順守	順守されている	◎	手順の順守
事業所内における電気使用量の削減	1 節電により事業所内使用電気量1%削減 (電気使用量/労働時間)	2003	1.385 kwh	1.467 kwh	×	維持管理項目
環境配慮型製品の提案	1 非塩ビマーキングフィルム材の提案		72件	71件	×	※グリーン購入対象製品
	2 省エネ方式のサインの提案		72件	74件	◎	※グリーン購入対象製品
法規制の順守	1 環境法規制への対応		100%	100%	◎	100%

※2005年度よりグリーン購入ガイドラインを制定し、指定品目の実績値を監視測定する。

浜松支店

項目		基準年	目標値	実績値	評価	次年度目標
産業廃棄物削減	1 産業廃棄物処分量原単位7%削減 (原単位=産廃処分量/改装工事売上高100万円)	2002	0.999 m ²	0.458 m ²	◎	0.449 m ²
	2 紙のリサイクル率81%を手順の順守により維持	2001	手順の順守	順守されている	◎	手順の順守
環境配慮型製品の提案	1 非塩ビマーキングフィルム材の提案		36件	45件	◎	※グリーン購入対象製品
	2 省エネ方式のサインの提案		36件	42件	◎	※グリーン購入対象製品
法規制の順守	1 環境法規制への対応		100%	100%	◎	100%

※2005年度よりグリーン購入ガイドラインを制定し、指定品目の実績値を監視測定する。

環境会計

対象期間； 2004年8月1日～2005年7月31日
対象サイト； 静岡本社、東京本社、浜松支店

参考書； 環境省環境会計ガイドライン2002年度版

環境保全コスト

2004年度の環境保全コストは投資 234,751円、費用 2,366,965円合わせて2,601,716円を投入しました。

分類 (注1)	投資額(注2)	費用(注3)	事例
地球環境保全、公害防止コスト	46,500	516,429	浄化槽点検清掃、作業環境測定他
資源循環コスト	0	1,850,536	廃棄物処理委託、省資源
管理活動コスト	73,251	0	環境教育、廃棄物管理、保管庫、書籍他
社会活動コスト	115,000	0	地域貢献
環境損傷対応コスト	0	0	なし
合計	234,751	2,366,965	

(注1) 環境省「環境会計ガイドライン(2002年版)」における環境保全コストの分類

(注2) 投資額とは環境保全を目的とした設備投資

(注3) 費用には環境保全活動に費やした人件費等の維持運営費が含まれます。

環境保全効果

効果についてはコストの投入により前年度より環境負荷がどれだけ改善されたかを捉えています。

産業廃棄物に関しては 25.267 m³の削減、事業所内における使用電気量に関しては11076 kwhの削減を達成し経済効果としては 445,962 円となりました。

内容	削減効果				経済効果	
	2003年度	2004年度	削減量	単位	内容	金額(円)
産業廃棄物の削減	152,587	126,820	25,767	m ³	分別による削減	257,670
事業所内使用電気量の削減	161973	150897	11076	kwh	節電による削減	188,292

環境負荷低減活動

「グリーン購入ガイドライン」の制定

地球温暖化・資源制約・廃棄物処理など地球環境問題が深刻化する中で、持続可能な社会をいかに実現するかが、世界共通の課題となっています。そして、環境負荷の少ない循環型社会の構築に対する企業の果たすべき役割がますます重要になってまいりました。

アオイネオン株式会社は、環境問題を取り巻く情勢の急速な変化に対応し、2005年8月に、「アオイネオン環境方針」の見直しを行い、より一層積極的に環境への取り組みを進めてまいりました。

その一つが、環境への影響を考慮した製品の調達を推進する「グリーン購入」活動です。当社では、このたび「グリーン購入ガイドライン」を発行し、環境負荷の少ない資機材及び工事等の調達推進や、当社取引先企業の皆様方との環境活動面での連携強化に積極的に取り組みます。

基本方針

アオイネオンは環境にやさしい製品の調達はもとより、調達する製品の環境に与える負荷低減についても、取引先企業の皆様と一体となった活動を展開します。

- 社員一人ひとりが、製品等の調達において、その必要性を十分理解します。
- 環境にやさしい製品等の調達をはかる「グリーン購入」を積極的に推進します。

1. 資機材調達における環境への配慮

これまで当社の資機材調達については、価格、品質、納期等合理的な基準に基づいて行ってきましたが、新たに「環境への配慮」という項目を加え積極的に環境に配慮した調達を進めてまいります。

2. グリーン購入制度の適用時期・適用範囲

適用時期：平成18年1月から適用します。

適用範囲：当社が調達する製品等に適用します。

グリーン購入ガイドラインに関するお問い合わせ先

アオイネオン株式会社 静岡本社	管理部	TEL054-282-1221	FAX054-285-5089
アオイネオン株式会社 東京本社	環境委員会	TEL03-3754-2111	FAX03-3754-2137
アオイネオン株式会社 浜松支店	環境委員会	TEL0538-66-8081	FAX0538-66-8142

最後までお読みくださりましてありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、下記アンケートにご記入の上、恐れ入りますが、このページをFAXまたは郵送して頂ければ幸いです。

アオイネオン CSRレポート2005へのご意見・ご感想

該当する項目に 印をお付けください。

Q1 CSRレポートをどのようなお立場でお読みになりましたか？

- | | | |
|------------------------------------|---|--|
| <input type="checkbox"/> 投資家・株主として | <input type="checkbox"/> アオイネオンと取引関係にある | <input type="checkbox"/> 製品のユーザー |
| <input type="checkbox"/> 政府・行政機関 | <input type="checkbox"/> 環境NGO・NPOとして | <input type="checkbox"/> 報道機関 |
| <input type="checkbox"/> 企業の環境担当者 | <input type="checkbox"/> 学生 | <input type="checkbox"/> 環境専門家・教育者・研究者 |
| <input type="checkbox"/> 事業所近隣の方 | <input type="checkbox"/> アオイネオンの従業員・家族 | <input type="checkbox"/> その他 () |

Q2 CSRレポートをなんでお知りになりましたか？

- | | | |
|---|----------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ホームページ (当社・当社以外) | <input type="checkbox"/> 当社からの送付 | <input type="checkbox"/> 営業マンから |
| <input type="checkbox"/> 新聞・雑誌 | <input type="checkbox"/> その他 () | |

Q3 このCSRレポートをお読みになってどのようにお感じになりましたか？

- | | | | |
|--------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| ・報告書のわかりやすさは | <input type="checkbox"/> よくわかる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> わかりにくい |
| ・内容 | <input type="checkbox"/> 充実 | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 物足りない |
| ・情報量 | <input type="checkbox"/> 多すぎる | <input type="checkbox"/> 適切 | <input type="checkbox"/> 不足である |

Q4 興味をもたれた記事、印象に残った項目は？ (いくつでも)

- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 表紙 | <input type="checkbox"/> トピックス | <input type="checkbox"/> 企業概要 | <input type="checkbox"/> トップメッセージ |
| <input checked="" type="checkbox"/> コンプライアンス | <input type="checkbox"/> 企業理念とCSR | <input type="checkbox"/> 企業理念 | <input type="checkbox"/> あるべき社会での企業像をめざして |
| | <input type="checkbox"/> コミットメント | <input type="checkbox"/> コンプライアンス方針 | <input type="checkbox"/> 社内体制 |
| | <input type="checkbox"/> 報告、相談への対応 | <input type="checkbox"/> 社会的側面への取り組み | <input type="checkbox"/> 労働安全衛生活動 |
| | <input type="checkbox"/> 社会貢献活動 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメント | <input type="checkbox"/> 環境方針 | <input type="checkbox"/> 組織体制 | <input type="checkbox"/> ISO14001認証 |
| | <input type="checkbox"/> 環境負荷低減活動 | <input type="checkbox"/> 産業廃棄物の削減 | <input type="checkbox"/> 製品への環境配慮 |
| | <input type="checkbox"/> 環境パフォーマンス指標 | <input type="checkbox"/> 環境目標に対する実績 | <input type="checkbox"/> 環境会計 |
| | <input type="checkbox"/> 「グリーン購入ガイドライン」の制定 | <input type="checkbox"/> 基本方針 | |

Q5 CSRレポートの内容についてのご意見や、改善するためのご提言をいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下欄をご記入下さい。

(個人情報に関しましては、ご本人の承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません)

お名前	ふりがな	男・女	年齢	歳
ご住所 (勤務先・ご自宅)	〒	—		
ご連絡先	TEL	FAX		
ご職業 (勤務先・部署・役職名)	E-mail	ふりがな		

FAX 054-285-5089

〒422-8076 静岡市駿河区八幡2-11-11 アオイネオン株式会社 静岡本社 管理部 行

CSR REPORT 2005



 **アオインオン株式会社**
<http://www.aoineon.com>

発行日/2005年12月13日
年1回発行、次回発行予定/2006年12月

お問い合わせ先：
・東京本社・工場：〒146-0082 東京都大田区池上3-6-16 TEL.03-3754-2111 FAX.03-3754-2137
・静岡本社・工場：〒422-8076 静岡市駿河区八幡2-11-11 TEL.054-282-1221 FAX.054-285-5089
・浜松支店・工場：〒438-0221 静岡県磐田市南平松10-7 TEL.0538-66-8081 FAX.0538-66-8142
・大阪支店：〒541-0048 大阪市中央区瓦町2-3-14 TEL.06-6227-6881 FAX.06-6227-6888


当誌配合率100%再生紙を使用しています